

上田市文化財調査報告書第130号

市 内 遺 跡

平成29年度市内遺跡発掘調査報告書

2018.3

上 田 市
上 田 市 教 育 委 員 会

例 言

- 1 本書は長野県上田市における各種開発事業等に伴う遺跡確認のための、平成29年度市内遺跡発掘調査報告書である。
- 2 本文中の遺跡番号は、平成18年3月6日の上田市・丸子町・真田町・武石村の合併以前の市町村の番号を使用している。
- 3 調査は、国庫補助事業として上田市（事務局 上田市教育委員会事務局生涯学習・文化財課）が実施した。
- 4 事業は、平成29年4月1日から平成30年3月26日まで実施した。なお、平成29年1月以降に実施した現地調査分については本報告書に掲載し、30年1月以降に実施した分については次年度の報告とする。
- 5 調査は、事務局の中沢徳士と谷口弘毅が担当した。
- 6 調査は主として、バックホーによるトレンチ調査を主として行った。
- 7 調査にかかる資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管している。
- 8 調査にかかる事務局の体制は、次のとおりである。
（教育長）小林一雄 （教育次長）中村栄孝 （生涯学習・文化財課長）小林薫 （文化財保護担当係長）塩崎幸夫 和根崎剛 （文化財保護係）中沢徳士・滝沢敬一・谷口弘毅
- 9 調査にあたり、施工主及び関係機関並びに地域の方々に、日程調整及び発掘調査の承諾等でご協力をいただいた。深く感謝の意を表するものである。

目 次

例言・目次

調査位置図

報告書抄録

1 江戸穿遺跡		1
2 染屋台条里水田跡遺跡		4
3 上田城跡		7
4 上田城跡		10
5 染屋台条里水田跡遺跡		13
6 上田城跡		16





1 江戸窄遺跡

- (1) 調査地 上田市下武石1240(北緯36.285948, 東経138.244529)
- (2) 遺跡番号 武石15
- (3) 原因 工場建設
- (4) 調査日 平成29年2月1日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約50㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

調査地は武石村指定史跡(現上田市指定史跡)として昭和56年に指定された縄文時代中期後葉の遺跡で、下武石字江戸窄の武石川に南面する河岸段丘の縁に広がっている。昭和54～56年に村教育委員会により小範囲の発掘調査が行われた結果、縄文時代中期後葉の竪穴建物跡2件と敷石遺構が1件発見された。住居址の1軒は径5.6×4.8m程の楕円形で、石囲い炉を持ち数多くの土器片と石鎌石斧(せきぞくせきふ)を出土したが、現在は埋め戻されて地下に保存されている。

このたび、工場棟を新築するという計画が立ち上がったため、事前に遺構等の確認調査を実施することとした。

調査の結果

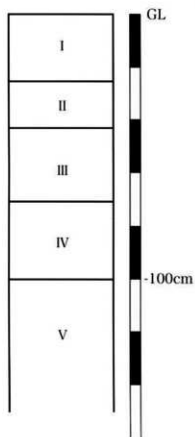
調査は、届出地に東西にトレンチを入れて実施した。その結果、GL-150cmのあたりから縄文土器片がわずかに出土したが、明確な遺構は把握されなかった。



調査位置図 (1/10000)



江戸窄道跡試掘調査トレンチ設定図 (1/500)



土層凡例

- I…灰褐色表土 (埋め土)
- II…灰黄色砂礫土 (埋め土)
- III…礫混じり灰褐色弱粘質土
- IV…礫混じり褐灰色弱粘質土
- V…礫混じり褐灰色砂質土

江戸窄土層柱状図



トレンチ土層（北から）



トレンチ掘削（西から）



調査地（北西から）

2 染屋台条里水田跡遺跡

- (1) 調査地 上田市古里 1512-1,2(北緯 36.388450, 東経 138.280543)
- (2) 遺跡番号 上田 52
- (3) 原因 宅地造成
- (4) 調査日 平成 29 年 2 月 1 日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約 80 m²
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

染屋台条里水田跡遺跡は市街地の北東部の染屋台に拡がる条里水田遺跡で、千曲川と神川によって形成された河岸段丘上に位置する。この台地は通称染屋台と呼ばれており、上田市文化財分布図では台地全体を条里水田遺跡として括っているものの、一部を除いて詳細な分布調査はなされていない。しかし、大規模開発事業等に伴う発掘調査や試掘調査等によって、幾つかの集落遺跡等が確認されており、少しずつではあるが台地上の遺跡の状況が把握されつつあるが、埋没条里等は未だに確認されていない。

今回、同遺跡内において宅地造成が計画されたため、事前に試掘調査を実施して、遺跡の確認を実施した。

調査の結果

調査は施工範囲に 1 本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が広がっていないことが判明した。



染屋台条里水田跡遺跡調査位置図 (1/10000)



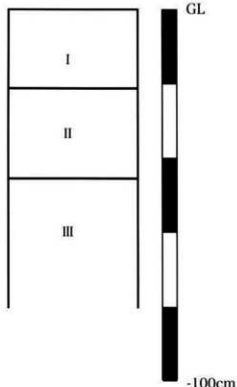
築屋台条里水田跡遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/2500)

土層凡例

I…灰褐色耕作土層（埋め土）

II…橙褐色弱粘質土層

III…橙褐色強粘質土層



築屋台条里水田跡遺跡土層柱状図



調査地（北東から）



Tr-01 掘削状況（北から）



Tr-01 セクション（東から）

3 上田城跡

- (1) 調査地 上田市常磐城二丁目114号(北緯436.406692, 東経138.240024)
- (2) 遺跡番号 上田66
- (3) 原因 宅地造成
- (4) 調査日 平成29年2月16日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約120㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

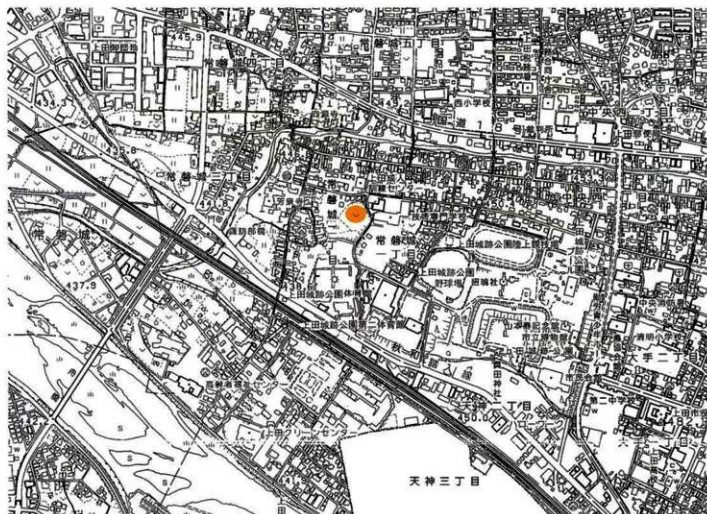
経過

上田城跡は二の丸までの範囲が国指定史跡となり、三の丸の範囲は武家地や町屋の周知の埋蔵文化財包蔵地となっている。

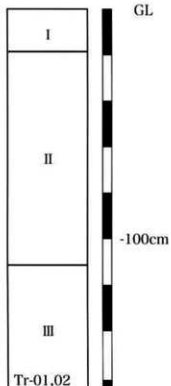
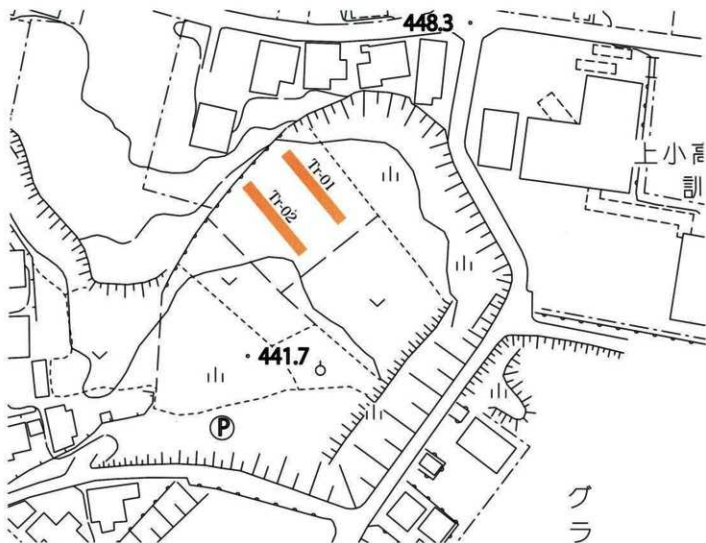
今回、この三の丸内において住宅建設の届出があり、確認の試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

調査は住宅建設地に2本のトレンチを平行に入れて実施した。その結果、調査地は砂礫に覆われた矢出沢川の急流路と思われ、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が残っていないことが判明した。



調査位置図 (1/10000)



土層凡例

- I … 灰黒色砂質土層 (表土)
- II … 橙灰色砂質土層
- III … 礫混じり橙灰色砂質土層

上田城跡土層柱状図



調査地（北から）



Tr-01（西から）



Tr-02 トレンチセクション
（南から）

4 上田城跡

- (1) 調査地 上田市中央二丁目3-17(北緯 36.401224, 東経 138.252362)
- (2) 遺跡番号 上田66
- (3) 原因 マンション建設
- (4) 調査日 平成29年2月28日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約20㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

上田城跡は二の丸までの範囲が国指定史跡となり、三の丸の範囲は武家地や町屋の周知の埋蔵文化財包蔵地となっている。今回、この三の丸堀の東側においてマンション建設の届出があり、確認の試掘調査を実施することとなった。なお、試掘調査に際しては、施工業者の協力をいただいた。

調査の結果

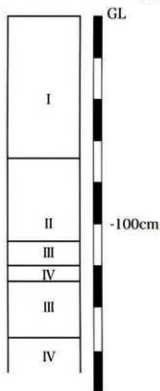
調査は住宅建設地に1本のトレンチを入れて実施した。その結果、調査地は泥濘のシルトに覆われ、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が残っていないことが判明した。



調査位置図 (1/10000)



上田城跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



土層凡例

- I … 灰色弱粘質土層 (埋め土)
- II … 礫混じり橙灰色粘質土層
- III … 青灰色粘質土層
- IV … 橙灰色粘質土層

上田城跡土層柱状図



調査地（北から）



トレンチ掘削（北東から）



Tr-01 セクション下部（東から）

5 染屋台条里水田跡遺跡

- (1) 調査地 上田市古里 1512-1,2(北緯 36.388450, 東経 138.280543)
- (2) 遺跡番号 上田 52
- (3) 原因 宅地造成
- (4) 調査日 平成 29 年 4 月 7 日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約 80m²
- (7) 調査担当者 中沢徳士

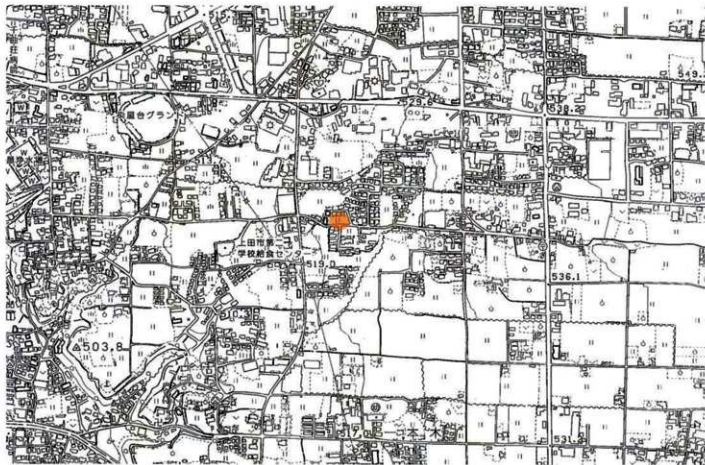
経過

染屋台条里水田跡遺跡は市街地の北東部の染屋台に拡がる条里水田遺跡で、千曲川と神川によって形成された河岸段丘上に位置する。この台地は通称染屋台と呼ばれており、上田市文化財分布図では台地全体を条里水田遺跡として括っているものの、一部を除いて詳細な分布調査はなされていない。しかし、大規模開発事業等に伴う発掘調査や試掘調査等によって、幾つかの集落遺跡等が確認されており、少しずつではあるが台地上の遺跡の状況が把握されつつあるが、埋没条里等は未だに確認されていない。

今回、同遺跡内において宅地造成が計画されたため、事前に試掘調査を実施して、遺跡の確認を実施した。

調査の結果

調査は施工範囲に 1 本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が広がっていないことが判明した。



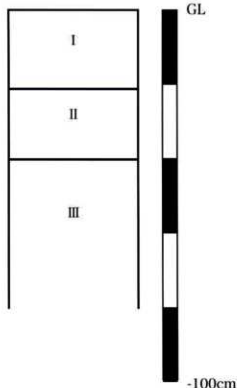
染屋台条里水田跡遺跡調査位置図 (1/10000)



染屋台条里水田跡遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/2500)

土層凡例

- I … 灰褐色耕作土層
- II … 橙褐色弱粘質土層
- III … 橙黄色強粘質土層



染屋台条里水田跡遺跡土層柱状図



トレンチ掘削（東から）



トレンチ掘削（西から）



トレンチセクション（南から）

6 上田城跡

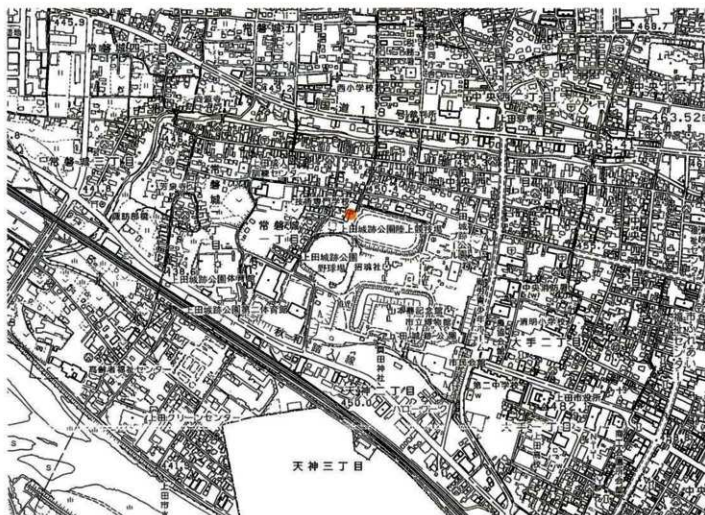
- (1) 調査地 上田市常磐城一丁目 948-1(北緯 36.406525, 東経 138.243471)
- (2) 遺跡番号 上田 66
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 調査日 平成 30 年 5 月 19 日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約 20 m²
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

上田城跡は二の丸までの範囲が国指定史跡となり、三の丸の範囲は武家地や町屋の周知の埋蔵文化財包蔵地となっている。今回、城郭の北西隅、通称百間堀の西、広堀の北において住宅建設の届出があり、確認の試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

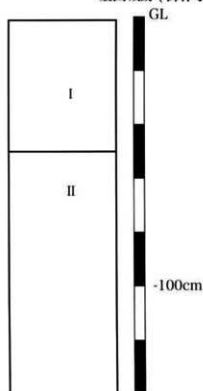
調査は住宅建設地に 1 本のトレンチを入れて実施した。あるいは堀を掘った排土の盛り土も想定されたが、調査の結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺構が残っていないことが判明した。



調査位置図 (1/10000)



上田城跡(御作事場)試掘調査トレンチ設定図(1/2500)



土層凡例

- I…灰橙色砂質土層(耕作土)
- II…砂を含む橙褐色弱粘質土層

上田城跡土層柱状図



調査地（北西から / 後方に陸上競技場＝百間堀）



トレンチ掘削（南から）



トレンチセクション（南東から）

報告書抄録

ふりがな	しないいせき
書名	市内遺跡
副書名	平成29年度市内遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	上田市文化財調査報告書
シリーズ番号	第130集
編著者名	中沢徳士
編集機関	上田市教育委員会
所在地	〒386-0025 長野県上田市天神一丁目8番1号 TEL0268(23)6362
発行年月日	西暦2018年3月26日

所収遺跡名	所在地	コード		調査開始日	調査対象及び掘削面積(m)		調査の原因	
		市町村	遺跡番号					
江戸穿遺跡	下武石 1240	20203	武石	15	2月1日	300	50	工場建設
染屋台条里水田跡遺跡	古里 1512-1,2		上田	52	2月1日	500	80	宅地造成
上田城跡	常磐城二丁目114		上田	66	2月16日	1,200	120	宅地造成
上田城跡	中央二丁目3-17		上田	66	2月28日	200	20	習合住宅建設
染屋台条里水田跡遺跡	古里1512-1,2		上田	52	4月7日	500	80	個人住宅建設
上田城跡	常磐城一丁目948-1		上田	66	5月19日	200	20	個人住宅建設

所収遺跡名	種別	主な時代	検出遺構	出土遺物	保護措置
江戸穿遺跡	集落跡	中近世	なし	縄文土器片	工事立会
染屋台条里水田跡遺跡	水田跡	平安・中世	なし	なし	工事立会
上田城跡	城館跡	中近世	なし	なし	工事立会
上田城跡	城館跡	中近世	なし	なし	工事立会
染屋台条里水田跡遺跡	水田跡	平安・中世	なし	なし	工事立会
上田城跡	城館跡	中近世	なし	なし	工事立会

上田市文化財調査報告書第130集

市内遺跡

平成29年度市内遺跡発掘調査報告書

発行日 平成30(2018)年3月26日

発 行 上田市・上田市教育委員会

長野県上田市天神一丁目8番1号 TEL0268(23)6362

印 刷 一喜堂印刷

長野県上田市塩川 630-30